

目標分野 2

すべての子どもが
学ぶ機会を得ること



世界中で、
子どもや若者たちの
学校に行く権利や
学ぶ権利の実現が
妨げられています。

2019年、紛争、災害、疾病、気候変動の影響が、子どもたちの教育を受ける権利の実現を阻みました。さらに、貧困、ジェンダー規範、障がいなどの理由で教育を受けられない子どもたちがあまりにも多くなっています。そして2020年の初めには、世界の多くの地域で、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) により学校が休校となりました。

2019年は、資金不足、不安定な状況の拡大や学校などを標的にした攻撃の結果、ユニセフは、緊急事態下で最も危険にさらされている1,230万人の子どもたちに教育を提供するという目標の60%しか達成できませんでした。

この目標分野における2019年の主要な資金パートナーは、ドイツ、欧州委員会、ノルウェー、教育のためのグローバル・パートナーシップ、オランダです。



アフガニスタン北部のバダフシャーン州最大の都市、ファイザーバードにあるトゥルガニ高校の運動場にいる子どもたち。

アフガニスタンでは、370万人の子どもたちが学校に通っておらず、入学した子どもたちの54%しか初等教育を修了していません。ユニセフは、教育省やその他のパートナーとともに、国、州、コミュニティのレベルで活動し、貧困、差別、紛争による排除と闘うために、不利な状況にある地域の最も脆弱な立場の人々、特に女の子に重点を置いて活動しています。

2019年、ユニセフはこれらの課題に対応するため、11億8,000万米ドルの年間予算で、143カ国で教育支援を行いました。また、6億9,000万米ドルの年間予算で、82カ国の緊急事態下における教育プログラムを支援しました。

成果

こうした困難にもかかわらず、2019年のユニセフの教育への取り組みは、次のような成果を収めました。

- ▶ ユニセフの支援を受けた国の37%が、子どもたちが学習への公平な機会を得られる制度を構築し、2018年の29%から増加しました。
- ▶ 2018年の38%から増加し、ユニセフの支援を受けた国の49%が、学校での性差に関連した暴力を防止するプランを作成しました。
- ▶ 2018年の35%から増加し、48%の国が学習成果を向上させるための効果的な制度を採用しました。
- ▶ 2018年の16%から増加し、ユニセフが支援している国の23%で、男の子と女の子が平等に重要な技能を習得できる制度を採用しました。
- ▶ 102カ国が「安全な学校宣言」を支持しました。宣言は、ユニセフ、パートナー、政府、武装グループに対し、攻撃から教育を守るよう呼びかけ、その実施のためのガイドラインを提供しています。

それでも、さらなる取り組みが必要です。成果が加速できなければ、低・中所得国の学齢期の子ども14億人のうち4億2,000万人が、2030年までに基礎学力の修得ができず、8億2,500万人は基本的な中等教育程度の学力も身につけることができないおそれがあります。

2019年に採択された「ユニセフ教育戦略2019-2030年：すべての子どもが学ぶ機会を得る」(Every Child Learns: UNICEF Education Strategy 2019-2030)は、SDGs(持続可能な開発目標)とその子どもたちのための目標を達成するための試みの中心に、学習成果の向上を据えました。この戦略では、5歳、10歳、18歳という各段階で、それぞれ通学、学業での成功、その後の生活と仕事への準備が整っていることを目指しています。

この戦略で重視されているのは、出席率、保持率(ある学年に就学している児童が、進級の有無にかかわらず次の年も引き続き在籍している割合)、学習方法、評価、そしてアカウントビリティ(説明責任)です。さらに、体制の強化、データとエビデンスの活用、そしてスケールアップに対応でき持続可能なイノベーションの実施という3つのアプローチに優先順位を置いています。

近年、子どもたちの教育を受ける権利における課題が変化していることが明らかになってきています。危機による混乱はかつてないほど大きな脅威となっています。しかしユニセフにとってやるべきことは明らかで、この新たな教育戦略によって、進むべき道も明確です。

目標分野2：すべての子どもが学ぶ機会を得ること

右：ウガンダのアルーア地区にあるティカ小学校で、教室の窓から外を眺めている南スーダン難民の生徒。

リグボのサブ・カウンティ（副郡）にあるティカ小学校は、2018年4月からトレイブレイザー・メンタリング財団（Trailblazer Mentoring Foundation）を通じてユニセフの支援を受けています。この学校には、公式の初等教育と、受け入れ側および難民コミュニティの子どもたちのための加速教育プログラム（AEP）があります。合計3,632人の子どもたち（女の子1,750人、男の子1,882人）がこの小学校に在籍しています。

© UNICEF/UNI313340/Adriko



主要な成果

学校に通っていない子ども1,700万人以上が
就学前教育、初等もしくは中等教育プログラムに参加しました。

1,200万人以上の子どもたちに
就学前の学習用を含む教材が
届けられました。

400万人以上が、学習、エンパワーメント
（社会的地位の向上と能力強化）、
雇用、積極的な社会参加のための
能力開発プログラムに参加しました。

ユニセフと世界銀行は、
「Generation Unlimited」（無限の可能性を秘めた世代）の支援として、
若者向けの教育と技能研修に10億米ドルを出資すると発表しました。
これは、世界中の若者が将来の仕事に向けて準備できることを目指すものです。